

ちず 地図のやくそくと使い方 (方位・地図記号・きより)

年 組 番
名 前

●やってみよう

(1) 地図上では、建物や土地の様子がわかりやすくなるように地図記号が使われています。下の「地図記号のもとになったもの」から生まれた「地図記号」を、(例)のように線で結びましょう。

ちずきごう 地図記号 となったもの

(例) 文 音、教養や文化などに関わる仕事をしていた文部省の「文」を記号にしたもの。

テ 音、郵便であつかつていた電信省の「テ」を記号にしたもの。

+

卍 音の衛生隊の印を記号にしたもの。

囿 神社の入り口などにある鳥居の形。

囿 仏教で使われる「卍」を記号にしたもの。

×

警察官が持っている警棒を交差させた形。

ちずきごう 地図記号 となったもの

囿 煙 建物の形に關係なく、市の中心にあることをイメージしたもの。

○ 東園 (果物畑) りんごやなしなどの果物を横から見た形。

◎ 市役所 2枚の子葉の形。

Y 消防署 掃をかり取ったあとの切り株の形。

|| 由 木を開いたときの形。

田 図書館 昔、火事のとぎに火の広がりを防ぐために使ったさすまの形。

(2) 次の建物が下の地図にいくつあるか、地図記号を数えてみましょう。

- ① 小・中学校 (3) ② 図書館 (1) ③ 寺院 (寺) (3)
- (3) ①~④の手がかりをたよりに、たからものを探しましょう。たからものは、ア~エのどこかの場所にあります。
- ☆手がかり
- ① 駅から南に進みます。
 - ② 警察署のある交差点を東へ曲がり、家の多い所を100m進みます。
 - ③ 病院のある丁字路を南に曲がります。
 - ④ 学校のある交差点を東に100m進んだ所に、たからものがあります。

たからものの場所 (記号)

ウ

